



Title	大阪大学附属図書館所蔵 石濱文庫の隋唐時代墓誌拓本
Author(s)	堤, 一昭
Citation	待兼山論叢. 文化動態論篇. 2014, 48, p. 1-17
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/56604">https://hdl.handle.net/11094/56604</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 大阪大学附属図書館所蔵 石瀆文庫の隋唐時代墓誌拓本

堤 一 昭

キーワード：石瀆文庫／拓本／墓誌銘／隋唐時代

## まえがき

本稿は、調査・整理作業を年来進めている大阪大学附属図書館所蔵の石瀆文庫（東洋学者・石瀆純太郎<sup>1)</sup>（1888-1968）旧蔵）の拓本のうち、隋唐時代の墓誌の原拓（原石から直接採った拓本）についての調査結果の考察である。

石瀆文庫の拓本は、1968年の受け入れ後、整理作業の一環として1974年頃、一部の拓本に整理番号がつけられ、マイクロフィルム撮影が行われた<sup>2)</sup>。さらにその一部の拓本写真が『石瀆文庫目録』1977年版、1979年版の「写真の部」に掲載された（後述）。その後は、拓本の整理・調査作業は継続されなかったものと思われる。

筆者は2004年頃より石瀆文庫の再調査をはじめ、2006年に調査の過程および拓本全体の概要、すなわちどんな種類の拓本がどのくらいあるか、著名なものは何かについて発表した（全体では約1300枚である）<sup>3)</sup>。2007年度には授業で墓誌拓本の調査を行い、参加者の協力を得て、各拓本について読みとった題名・実測サイズと参考文献のページ数などを記録し<sup>4)</sup>、今年2014年9月8、9日にも追加調査を行った。

石瀆文庫の墓誌拓本は、原拓と複製品、また墓誌と墓誌蓋の拓本がばらばらに収蔵されていた。今回の考察の結果、原拓は隋唐時代のもののみで、32タイトル、47枚と判明した。なお、南北朝から隋代のものなど若干は複製

品である（【附録】参照）。それらを目録化して以下に示す。

## 凡例

目録の項目は、**北大**（後述）の凡例におおむね倣い、以下の①～⑨の構成とする。①題名、②原題名、③撰文者、④墓誌の年代、⑤書体、⑥行款、⑦拓本の実測サイズ、⑧著録、⑨備考。各項目を④の年代順に配列して、タイトルごとに通し番号（1）～（32）を付した。なお、目録本文では繁体字を用い、また異体字は正字に統一した。（誌）は墓誌、（蓋）は墓誌蓋を示す。

①題名は、“墓主の姓名+墓誌”を基本とし、**北大**に記載のある場合はそれに拠った。ない場合は、**北大**の凡例によって命名した。石濱文庫に墓誌ないし墓誌蓋の拓本がない場合にも、どこかの所蔵機関に墓誌蓋拓本の所蔵がある場合は、題名を「某某墓誌并蓋」とした。②原題名は、首題（墓誌の文章の冒頭に記される）および蓋題（墓誌蓋に記される）を記した。判読し難い場合、“□”で示した。首題がない場合は墓誌の内容から命名した。③撰文者は、記されている場合のみ、“(朝代名) 某某撰”の形で記した。④墓誌の年代は、墓誌の文章中で記されるもっとも遅い時間、一般的には埋葬の年月を記すとともに、**北大**によって出土地を記した。ちなみに32タイトル中29タイトルは洛陽かその近傍の出土である。⑦拓本の実測サイズ（cm表示）は、原石の大きさを示す部分のものである。石濱文庫所蔵の拓本の枚数を付記した。

⑧著録（参照文献等での記載）は、以下の7点について、略号を記した後、そこでの整理番号、ページ数などを記した。

○**北大**：『北京大學圖書館藏歷代墓誌拓片目録』上・下、北京大學圖書館金石組ほか編、上海古籍出版社、2013年。隋唐時代の墓誌銘拓本6300点あまりを収録し、現在もっとも網羅的と考えられる。各墓誌に付された整理番号を示す。

○**題跋**：『石刻題跋索引』楊殿珣編（『石刻史料新編』30所収）、新文豊出

版公司、1982年。各墓誌について記載されているページ数とそのページでの左右を記す。また当該の墓誌を記載する石刻書のうち最も早い羅振玉輯『芒洛冢墓遺文』正編・續編・續編補・三編での巻数・葉数を書名の略記とともに記す。本目録での32タイトルのうち、28タイトルがここに収録される。ここから石濱文庫の墓誌拓本が羅振玉かその子の羅福成（石濱と西夏文字の研究で交流があった）より購入したか、贈られたものと推定される。

○**人文**：京都大学人文科学研究所の東アジア人文学情報学センターの文字資料データベース「京都大学人文科学研究所所蔵石刻拓本資料」（<http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/db-machine/imgsrv/takuhon/>）の「文字拓本」所載の目録及び拓本画像。ファイルナンバーを記す。題名は**北大・唐代**（後述）の題名情報を補う場合のみ付記した。

○**唐代**：『新版唐代墓誌所在総合目録（増訂版）』、氣賀澤保規編、明治大学東アジア石刻文物研究所、2009年。ナンバーおよび題名を記す。

○**石濱文庫整理番號**：石濱文庫の資料整理の際の整理番号を記す。墓誌拓本のうち29枚は1枚ずつ封筒に入れられ、封筒に楕円形の印「大阪外国語大学附属図書館／石濱文庫／No. / OSAKA UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES」と「49.2.18」（昭和49年、1974年2月18日）のスタンプが捺された紙が貼られている。「No.」の箇所の番号を記す。

○**石濱 1977**：『大阪外国語大学所蔵石濱文庫目録』大阪外国語大学附属図書館、1977年。

○**石濱 1979**：『大阪外国語大学所蔵石濱文庫目録』同上、1979年。

1979年版は基本的には1977年版に索引を加えたものだが、墓誌拓本ほかの図版を載せた「写真の部」（どちらの版でもpp.429～492）の内容が大きく異なる。図版に番号は付けられていない。異種の資料の図版が混在し、部分的に付けられたキャプションにも混乱が見られる<sup>5)</sup>。

上記2つの石濱文庫目録「写真の部」各ページ内の図版に上段左・右、中段左・右、下段左・右の順序で1、2…の仮番号を付す。“ページ数 - 仮

番号”により、墓誌拓本の図版掲載場所を記す。

\*\*\*\*\*

## 目録

### (1) 寇奉叔墓誌并蓋

首題：隋故使持節儀同大將軍昌國公君墓誌銘；蓋題：隋故儀同亳州刺史昌國公寇使君墓誌。

隋開皇三年（583）十月〔十九日〕葬。河南洛陽攔駕溝出土。

正書、38行、行38字；蓋正書、陽文、4行、行4字。65×65cm（誌。1枚）、57×57cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：00733；○題跋：153左。芒洛冢墓續編上／4；○人文：ZUI 0006X（誌および蓋）；○石濱文庫整理番號：No.28342（誌）；No.28394（蓋）；○石濱1977：448-3（誌）

### (2) 寇遵考墓誌并蓋

首題：□翊師大將軍儀同三司大内史大納言扶風郡太守濩澤公之墓誌銘；蓋題：隋故濩澤公寇府君銘。

隋開皇三年（583）十月十九日葬。河南洛陽出土。

正書、33行、行33字；蓋正書、3行、行3字。60×60cm（誌。1枚）、44×42cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：00734；○題跋：153左。芒洛冢墓續編上／6；○人文：ZUI 0008X（誌および蓋）；○石濱文庫整理番號：No.28381（誌）；蓋は番號なし。；○石濱1977：448-3（誌）

### (3) 任軌墓誌并蓋

首題：なし；蓋題：隋故朝散大夫將作少匠任君墓誌之銘

隋大業四年（608）二月九日葬。河南洛陽出土。

隸書、22行、行23字；蓋篆書、陽文、4行、行4字。55×55cm（誌。1枚）、48×48cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：00878；○題跋：158左。芒洛冢墓續編上/8；○人文：ZUI 0094X（誌および蓋）「隋朝散大夫將作少匠任軌及妻薛氏墓誌銘」；○石濱文庫整理番號：No.28341（誌）；No.28395（蓋）；○石濱1977：441-3（蓋）；448-4（誌）

#### (4) 羊瑋墓誌并蓋

首題：隋故朝請大夫右禦衛東陽府鷹揚郎將羊君墓誌；蓋題：隋故襄國贊治羊君銘。

隋大業六年（610）九月十五日葬。河南洛陽出土。

正書、27行、行27字；蓋篆書、陽文、3行、行3字。46×46cm（誌。1枚）。

著録：○北大：00899；○題跋：158右。芒洛冢墓續編上/9；○人文：ZUI 0099X（誌および蓋）；○石濱文庫整理番號：No.28386（誌）；○石濱1977：439-1（誌）

#### (5) 姜明墓誌

首題：周上儀同三司岐山縣開國侯姜君墓誌銘。

隋大業九年（613）二月二十八日葬。河南洛陽出土。

正書、25行、行25字。50×50cm（誌。1枚）。

著録：○北大：00940；○題跋：160左右。芒洛冢墓續編上/11；○人文：ZUI 0111X（誌）；○石濱文庫整理番號：No.28399（誌）；○石濱1977：438-3（誌）；○石濱1979：435-2（誌）

#### (6) 張盈妻蕭飭性墓誌并蓋

首題：隋故朝散大夫張府君夫人蕭氏墓誌銘并序；蓋題：隋故朝散張盈妻蕭氏誌。

隋大業九年（613）三月十日葬。清末河南洛陽南陳莊出土。

正書、24行、行24字；蓋篆書、陽文、3行、行3字。53×53cm（誌。1枚）、40×39cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：00943；○題跋：160右。芒洛冢墓續編上／13；○人文：ZUI 0113X（誌および蓋）；○石濱文庫整理番號：No.28397（誌）；蓋は番號なし。；○石濱1977：438-1（誌）

#### (7) 張盈墓誌并蓋

首題：隋故朝散大夫張府君墓誌銘并序；蓋題：隋朝散大夫張府君誌。

隋大業九年（613）三月十日葬。清末河南洛陽南陳莊出土。

正書、24行、行24字；蓋篆書、陽文、3行、行3字。54×53cm（誌。1枚）、44×44cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：00944；○題跋：160右。芒洛冢墓續編上／12；○人文：ZUI 0113X（誌および蓋）；○石濱文庫整理番號：No.28398（誌）；蓋は番號なし。；○石濱1977：438-2（誌）

#### (8) 豆盧實墓誌并蓋

首題：大隋故金紫光祿大夫豆盧公墓誌銘并序；蓋題：大隋故金紫光祿大夫豆盧公墓誌之銘。

隋大業九年（613）十月三日葬。河南洛陽出土。

隸書、39行、行40字；蓋篆書、陽文、4行、行4字。71×71cm（誌。1枚）、60×59cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：00949；○題跋：160右。芒洛冢墓續編補／4；○人文：ZUI 0114X（誌および蓋）；○石濱文庫整理番號：No.28380（誌）；蓋は番號なし。；○石濱1977：452-3（誌）。※文字が小さいため、判讀しがたい。

#### (9) 張波墓誌并蓋

首題：隋故張君墓誌銘并序；蓋題：隋故墓銘。

隋大業十一年（615）三月二十二日葬。清末河南洛陽南陳莊出土。

隸書、16行、行16字；蓋篆書、陽文、2行、行2字。35×35cm（誌。1枚）、25×25cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：00989；○題跋：161右。芒洛冢墓續編上／14；○人文：ZUI 0121X（誌および蓋）；○石濱文庫整理番號：No.28346（誌）；蓋は番號なし。；○石濱1977：453-3（誌）

#### (10) 薄氏墓誌并蓋

首題：なし；蓋題：唐故夫人薄氏墓誌銘。

唐貞觀十五年（641）五月二十五日葬。河南洛陽出土。

正書、19行、行19字；蓋篆書、3行、行3字。45×45cm（誌。1枚）。

著録：○北大：01120；○題跋：165左。芒洛冢墓續編中／2；○人文：TOU 0047A（誌）；TOU 0047B（蓋）；○唐代：192「薄氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28446（誌）；○石濱1977：453-4（誌）

#### (11) 張君妻齊氏墓誌并蓋

首題：唐故洛州河南縣崇政鄉君夫人墓誌銘并序；蓋題：齊夫人銘。

唐貞觀二十年（646）五月十一日葬。河南洛陽出土。

正書、19行、行19字；蓋篆書、陽文、2行、行2字。51×51cm（誌。1枚）、36×36cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：01167；○題跋：165右。芒洛冢墓續編中／2；○人文：TOU 0089A（誌）；TOU 0089B（蓋）；○唐代：268「張君妻齊氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28385（誌）；蓋は番號なし。；○石濱1977：439-4（誌）

#### (12) 李護墓誌

首題：なし。

唐貞觀二十年（646）六月一日葬。河南洛陽出土。

正書、18行、行19字。42×42cm（誌。1枚）。

著録：○北大：01169；○題跋：165右。芒洛冢墓續編中／3；○人文：TOU 0092X（誌）；○唐代：271「李護墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28389（誌）；○石濱1977：440-2（誌）

### (13) 張通墓誌

首題：大唐張君墓誌。

唐貞觀二十二年（648）七月二十七日葬。河南洛陽出土。

正書、21行、行21字。46×46cm（誌。1枚）。

著録：○北大：01208；○題跋：165右。芒洛冢墓續編中／4；○人文：TOU 0115X（誌）；○唐代：322「張通及妻薄氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28384（誌）；○石濱1977：440-1（誌）

### (14) 斛斯君妻索相兒墓誌

首題：唐故斛斯府君夫人索氏墓誌銘。

唐永徽三年（652）十一月二十九日葬。河南洛陽出土。

正書、21行、行21字。47×48cm（誌。1枚）。

著録：○北大：01300；○題跋：166右。芒洛冢墓續編上／20；○人文：TOU 0366X（誌）；○唐代：452「斛斯君妻索相兒墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28434（誌）；○石濱1977：457-1（誌）

備考：原石は京都大學文學部藏（北大による）。

### (15) 段會墓誌

首題：唐故左驍衛朔陂府折衝都尉段府君墓誌銘。

唐永徽三年（652）十一月七日葬。

正書、25行、行26字。62×62cm（誌。1枚）。

著録：○北大：なし。；○題跋：167左「段會墓誌」。芒洛冢墓續編中／4；○人文：TOU 0161X（誌）；○唐代：450「段會墓誌」；○石濱文庫整理番

號：No.28433（誌）；○石濱 1977：28433（誌）※畫像薄く、文字判讀不能。

備考：同一人物が永徽四年（653）十二月十九日に夫人呂氏と合葬された時に墓誌「唐右驍衛朔坡府故折衝都尉段公墓誌銘」が改めて作製された。北大 01334；題跋 167 左「段會墓誌銘」。芒洛冢墓三編／23；人文：TOU0181X（誌）；唐代：490「段會及妻呂氏墓誌」。

#### (16) 王寬墓誌并蓋

首題：唐故王君墓誌銘并序；蓋題：王君墓誌。

唐永徽六年（655）二月九日葬。河南洛陽出土。

正書、21 行、行 21 字；蓋篆書、陽文、2 行、行 2 字。45 × 45cm（誌。1 枚）、33 × 32cm（蓋。1 枚）。

著録：○北大：01366；○題跋：167 左。芒洛冢墓續編中／7；○人文：なし。；○唐代：534「王寬及妻常氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28388（誌）；蓋は番號なし。；○石濱 1977：440-3（誌）

#### (17) 王朗及妻魏氏合葬墓誌并蓋

首題：大唐故雲騎尉王府君及夫人魏氏墓誌銘并序；蓋題：王君之誌。

唐龍朔元年（661）四月二十一日葬。河南洛陽出土。

正書、23 行、行 23 字；蓋篆書、2 行、行 2 字。43 × 43cm（誌。1 枚）、36 × 34cm（蓋。1 枚）。

著録：○北大：01611；○題跋：169 右。芒洛冢墓續編中／8；○人文：TOU 0336X（誌）；○唐代：824「王朗及妻魏氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28449（誌）；蓋は番號なし。；○石濱 1977：437-4（誌）

#### (18) 竹妙墓誌并蓋

首題：大唐故夫人竹氏墓誌銘并序；蓋題：竹女之誌。

唐龍朔元年（661）九月二十三日葬。河南洛陽出土。

正書、22行、行22字；蓋篆書、陽文、2行、行2字。52×52cm（誌。1枚）、40×40cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：01620；○題跋：169右。芒洛冢墓續編中／10；○人文：TOU 0341A（誌）；TOU 0341B（蓋）；○唐代：836「竹妙墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28343（誌）；蓋は番號なし。；○石濱1977：450-4（誌）

### (19) 爨君墓誌

首題：唐故文林郎爨君墓誌銘并序。

唐龍朔元年（661）十月八日葬。河南洛陽出土。

正書、22行、行23字。60×61cm（誌。1枚）。

著録：○北大：01624；○題跋：169右。芒洛冢墓續編中／10；○人文：TOU 0343X（誌）；○唐代：846「爨君及妻張氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：番號なし。

### (20) 斛斯祥墓誌并蓋

首題：大唐故左翊衛斛斯府君墓誌銘；蓋題：斛斯之誌。

唐龍朔二年（662）七月二十二日葬。

正書、23行、行25字；蓋篆書、陽文、2行、行2字。39×41cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：なし。；○題跋：170左。芒洛冢墓上／29；○人文：TOU 0365A（誌）；TOU 0365B（蓋）。；○唐代：878「斛斯祥墓誌」；○石濱文庫整理番號：番號なし。

### (21) 孫君妻宋氏墓誌并蓋

首題：唐孫君故夫人宋氏墓誌銘并序；蓋題：大唐故宋夫人墓誌銘。

唐龍朔三年（663）二月十二日葬。河南洛陽出土。

正書、18行、行19字；蓋篆書、陽文、3行、行3字。45×42cm（誌。1枚）、36×36cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：01669；○題跋：170 右。芒洛冢墓續編中／13；○人文：TOU 0374A（誌）；TOU 0374B（蓋）。；○唐代：904「孫君妻宋氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28448（誌）；蓋は番號なし。

## (22) 袁弘毅墓誌

首題：[大唐] 故台州錄事參軍袁府君墓誌之銘。

唐麟德元年（664）十一月十六日葬。河南洛陽出土。

正書、19行、行19字。39×37cm（誌。1枚）。

著録：○北大：01726；○題跋：171 左。芒洛冢墓續編中／15；○人文：TOU 0404X（誌）；○唐代：993「袁弘毅墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28390（誌）；○石濱1977：441-5（誌）

## (23) 王和墓誌并蓋

首題：唐故箕州榆社縣令王君墓誌銘并序；蓋題：王君誌銘。

唐乾封二年（667）十月二十二日葬。河南洛陽出土。

正書、26行、行26字；蓋篆書、陽文、2行、行2字。44×43cm（誌。1枚）、32×32cm（蓋1枚）。

著録：○北大：01850；○題跋：171 右。芒洛冢墓續編中／17；○人文：TOU 0450A（誌）；TOU 0450B（蓋）。；○唐代：1115「王和及妻李氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28391（誌）；蓋は番號なし。；○石濱1977：441-4（誌）

## (24) 張朗墓誌

首題：唐故張君墓誌并序。

（唐）張崇珪撰。唐乾封二年（667）閏十二月二十七日葬。河南洛陽出土。

正書、25行、行17字。48×48cm（誌。1枚）。

著録：○北大：01874；○題跋：171 右。芒洛冢墓續編中／18；○人文：TOU 0456X（誌）；○唐代：1141「張朗及妻樊氏墓誌」；○石濱文庫整理

番號：No.28396（誌）

(25) 康留買墓誌

首題：大唐故游擊將軍守左清道率頻陽府長上果毅康府君墓誌銘并序。

唐永淳元年（682）十月十四日葬。河南洛陽出土。

正書、27行、行25字。57×57cm（誌。1枚）。

著錄：○北大：02281；○題跋：175左。芒洛冢墓續編中／21；○人文：TOU 0678X（誌）；○唐代：1614「康留買墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28382（誌）；○石濱1977：439-3（誌）

(26) 康磨伽墓誌并蓋

首題：大唐故游擊將軍康府君墓誌銘并序；蓋題：大唐故游擊將軍康府君墓誌。

唐永淳元年（682）十月十四日葬。河南洛陽孟津縣平樂鎮出土。

正書、25行、行25字；蓋篆書、4行、行3字。57×57cm（誌。1枚）、41×42cm（蓋。1枚）。

著錄：○北大：02282；○題跋：175左。芒洛冢墓續編中／20；○人文：TOU 0671A（誌）；TOU 0671B（蓋）。；○唐代：1613「康磨伽墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28383（誌）；蓋は番號なし。；○石濱1977：438-4（誌）

(27) 焦松墓誌并蓋

首題：大周唐故文林郎焦府君墓誌銘并序；蓋題：大唐焦府君墓誌銘。

武周天授二年（691）十月二十四日葬。河南洛陽出土。

正書、26行、行27字；蓋正書、3行、行3字。50×50cm（誌。1枚）。

著錄：○北大：02530；○題跋：177左。芒洛冢墓續編中／25；○人文：TOU 0771A（誌）；TOU 0771B（蓋）。；○唐代：1882「焦松及妻種氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28340（誌）；○石濱1977：448-2（誌）

**(28) 劉元超墓誌并蓋**

首題：大唐故儀州遼城府左果毅劉府君墓誌銘；蓋題：劉君墓誌。

唐開元六年（718）十一月十九日葬。河南滎陽出土。

正書、30行、行30字；蓋篆書、2行、行2字。45×45cm（誌。1枚）、26×27cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：03345；○題跋：なし。芒洛冢墓なし。；○人文：TOU 1037A（誌）；TOU 10371B（蓋）。；○唐代：2707「劉元超及妻李氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28387（誌）；蓋は番號なし。；○石濱 1977：440-4（誌）

**(29) 王君妻薄氏墓誌并蓋**

首題：唐右牛衛長史王公夫人薄氏墓誌；蓋題：薄夫人銘。

（唐）杜師義撰；（唐）王弘義書。唐元和六年（811）十一月十二日葬。河南洛陽出土。

正書、23行、行23字；蓋篆書、陽文、2行、行2字。31×31cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：05337；○題跋：なし。芒洛冢墓なし。；○人文：TOU 1465A（誌）；TOU 1465B（蓋）。；○唐代：4755「王君妻薄氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：番號なし。

**(30) 崔稭及妻鄭氏合祔墓誌**

首題：唐故懷州錄事參軍清河崔府君故夫人滎陽鄭氏合祔墓誌銘并序。

（唐）鄭涵撰。唐元和十二年（817）七月十六日葬。河南洛陽出土。

正書、35行、行34字。58×59cm（誌。1枚）。

著録：○北大：05441；○題跋：200右。芒洛冢墓中／34；○人文：なし。；○唐代：4882「崔稭及妻鄭氏墓誌」；○石濱文庫整理番號：No.28435（誌）；○石濱 1977：454-3（誌）

## (31) 茅君及妻嚴氏墓誌蓋

蓋題：茅君及夫人嚴氏墓誌。

唐（618-907）。

蓋篆書、陽文、3行、行3字。36×36cm（蓋。1枚）。

著録：○北大：06927；○題跋：なし。芒洛冢墓なし。；○人文：なし。；

○唐代：6515「茅君及妻嚴氏墓誌蓋」；○石濱文庫整理番號：番號なし。

## (32) □君墓誌蓋

唐（618-907）。

蓋篆書、陽文、3行、行3字。33×32cm（蓋。1枚）。

著録：○石濱文庫整理番號：番號なし。

備考：書體により唐代と推定。

\*\*\*\*\*

【附録】『石濱文庫目録』（1977年版、1979年版）「写真の部」に拓本写真が載る、上記の目録に収録した以外の墓誌のリストを附す。原拓が確認されないため、「古刻萃珍」（金佳石好樓）などの複製品によった写真と判断される。拓本写真の番號は、本稿の「凡例」で示した方法による、最初の3桁がページ数、次はページ内での順序を示す仮番號である。題名・年代および北大での番號をあわせ記す。

○1977年版

435-3：楊居墓誌并蓋（蓋） 隋開皇四年（584）三月十日葬。 北大  
00739

442-1：劉淵墓誌（誌） 隋大業三年（607）十一月二十七日葬。 北大  
00876

444-1：元珽墓誌并蓋（蓋） 北魏孝昌二年（526）十月十九日葬。 北大  
00295

444-2：元斑妻穆玉容墓誌并蓋（蓋） 北魏神龜二年（519）十月二十七日葬。 北大00204

446-4：衛和墓誌（誌） 陳太建二年（570）十一月。 北大00084

446-5：元昭墓誌（誌） 北魏正光五年（524）三月十一日葬。 北大00258

449-2：元斑妻穆玉容墓誌并蓋（誌） 北魏神龜二年（519）十月二十七日葬。 北大00204

459-1：元顯儁墓誌并蓋（誌） 北魏延昌二年（513）二月二十九日。 北大00152

○1977年版

440-1：元顯儁墓誌并蓋（蓋） 北魏延昌二年（513）二月二十九日。 北大00152

440-2：元顯儁墓誌并蓋（誌） 北魏延昌二年（513）二月二十九日。 北大00152

[付記]

本稿は平成26年度科学研究費補助金・基盤研究(C)「東洋学学術資産としての石濱文庫の基礎的研究」(研究課題番号:26370822)による研究成果の一部である。

[注]

- 1) 石濱の「濱」字は、従来は「石浜」「石濱」などの表記が混在していたが、本稿では過去の文献での記載も含めて、本来の表記「石濱」に統一する。
- 2) 布川嘉佑「石濱文庫について」『大学図書館研究』11号、1977年10月、p.98に「拓本については、近々マイクロとして貴重な部分1,570cutに集録した」との記載がある。
- 3) 「石濱文庫拓本資料調査の概要—2006年度前半まで—」『大阪外国語大学論集』第35号、2006年、pp.181-192。墓誌銘についての記述部分は、pp.188-189。

なお、「石濱文庫の拓本資料—概要とモンゴル時代石刻拓本一覽」(『13,14世紀東アジア史料通信』第6号、2006年、pp.1-8；『13,14世紀東アジア諸言語史料の総合的研究—元朝史料学の構築のために』2007年、pp.131-138。後者が増補版)

では、モンゴル時代石刻拓本(9タイトル、24枚)の目録を示している。

- 4) 大阪外国語大学大学院・言語社会研究科博士前期課程・国際コース「文化交流史研究1」。調査は2007年6月13日、7月18日。馬越麻紗美、川島愛子、桜井祐、辻尾千暁、中井祥雅、藤本圭、吉川大雅の諸氏が参加し、各々担当の拓本について実測・調査を行った。
- 5) 載せられた拓本写真も相当縮小されているため、文字の判読が難しい場合もある。なお1979年版のpp.493-500には、拓本資料ほかの部分的な目録があるが、凡例がなく不完全なものである。

[附記] 石濱文庫は、2014年度に大阪大学附属図書館の外国学図書館(旧大阪外国語大学附属図書館)から総合図書館に移動した。

(文学研究科教授)

## SUMMARY

Rubbings from the Sui and Tang Dynasty Epitaphs in the Ishihama  
Collection, Osaka University Library

Kazuaki TSUTSUMI

The Ishihama collection (Ishihama Bunko), collected by Japanese orientalist Ishihama Juntaro 石濱純太郎 (1888 – 1968), a disciple of Naito Konan 内藤湖南, consists of 40,000 books and 10,000 items of research material. The collection contains approximately 1300 sheets of genuine (not reproduction) rubbings from China and Japan, including rubbings of epitaphs from the Sui 隋 and Tang 唐 Dynasties (32 titles and 47 sheets), which are listed in this article. These epitaph rubbings were likely presented by, or purchased from, Chinese philologists Luo Zhengyu 羅振玉 and his son Luo Fucheng 羅福成. Ishihama co-operated with Luo Fucheng on philological research on Xixia 西夏 characters.